

新刊のご案内

望月恒子著「チェーホフの『谷間』を読む」

Читаем повесть «В овраге» А.П.Чехова

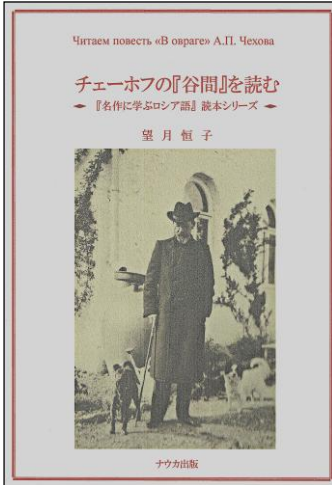
(『名作に学ぶロシア語』読本シリーズ) [ナウカ出版]

2016年4月15日発売

B5判並製 92頁 ISBN978-4-904059-11-1

朗読CD1枚つき 価格2,500円(本体価格)

テキスト朗読: ナターリヤ・イワノワ



日本でも『桜の園』、『三人姉妹』や『かもめ』などの戯曲、また『小犬を連れて奥さん』でもよく知られているチェーホフ。1899年に発表された『谷間』は、『百姓たち』、『新しい別荘』とならんで、村を舞台にし、村を描いた傑作で、もっともチェーホフらしさの表れた小説ともいわれています。このたび、小社では『名作に学ぶロシア語』読本シリーズの一冊として、チェーホフの『谷間』をとりあげ、全編の約三分の一を、厳選した20のシーンによって紹介いたします。本シリーズのおおきな特長である、「原文を読んでではじめてわかること」、「原文に触れることの面白さ」を、洗練された日本語訳、詳しく味わい深いテキスト解説と朗読CDによって、初級文法を習得した読者のみなさまにお届けいたします。

著者まえがき (はじめに: チェーホフと『谷間』について) より

「<…>チェーホフはロシア文学を代表する作家のひとりですが、原典に接すると、文は短めで語彙もそれほど難しくなく、100年以上も前の作品なのに読みやすいことに気づかれるでしょう。「簡潔さは才能の妹だ Краткость — сестра таланта」とは、自分より先に文筆業に手を染めていた長兄への助言として、若い作家が1889年に書いた手紙の一節です。簡潔さを尊ぶ美学は最後まで貫かれ、その一方で叙述の内容は、年を追うごとに深さや抒情性を増していきました。円熟期に書かれた『谷間』は、そんなチェーホフの魅力を存分に味わうことのできる作品です。<…>」

著者紹介

望月恒子 1976年東京大学文学部卒業。1983年東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。現在、北海道大学大学院文学研究科教授。専攻は19世紀—20世紀ロシア文学、第一次亡命ロシア文学。主要論文等:「亡命自伝文学における記憶の表現」(スラヴ学論叢5号、2001年)、「日本におけるブーニンの翻訳について」(ロシア語ロシア文学研究36号、2004年)、「リュドミラ・ウリツカヤの作品世界」(スラヴ研究53号、2006年)、「一日目 チェーホフと旅へ」//北村清彦編著『北方を旅する 人文学でめぐる九日間』(北海道大学出版会、2010年) 解題:『ブーニン作品集』第3巻・第5巻(群像社、2003年)、『ブーニン作品集』第1巻(群像社、2014年)

ご注文は生協・書店またはナウカ出版へ

〒354-0024 埼玉県富士見市鶴瀬東2-18-32, 2-108

email: kniga@naukapub.jp URL: <http://www.naukapub.jp> Tel & Fax: 049-293-5565

注文書 貴店名 (取次様番線・書店様コード)	望月恒子著 チェーホフの『谷間』を読む (CD1枚つき) ISBN 978-4-904059-11-1	¥2,700 (本体:¥2,500)	冊	新刊
ご担当()様	井上幸義著 ゴーゴリ『鼻』全文読解 (CD1枚つき) ISBN 978-4-904059-07-4	¥3,024 (本体:¥2,800)		既刊
	望月哲男著 『アンナ・カレーニナ』を読む (CD1枚つき) ISBN 978-4-904059-09-8	¥2,592 (本体:¥2,400)		
	坂庭淳史著 プーシキンを読む (CD1枚つき) ISBN 978-4-904059-10-4	¥2,700 (本体:¥2,500)		刊

(ナウカ出版)